



第47号

2024年4月吉日

発行

千葉県立一宮商業高等学校
同窓会

千葉県長生郡一宮町一宮3287
千葉県立一宮商業高等学校内
TEL 0475 (42) 4520(代)
FAX 0475 (42) 7418
http://ichisho-dosokai.com/

ご挨拶



同窓会長

白井 和
(昭和34年度)

会員の皆様には、ご壮健でご活躍のこととお慶び申し上げます。

ご承知の通り、新型コロナウイルス感染症の防止の為、令和2年から4年に亘り、同窓会活動は中止とさせて頂いてまいりました。令和5年5月になって、コロナが2類から5類になり、マスクを着けることも自由になり、各種の制限も緩和されました。しかし、ウイルスがなくなった訳ではなく、感染リスクは変わらずあります。くれぐれも油断しないよう、各自が対策をとることも必要でありましょう。皆様には、適切な体調管理を行い、健康な日々をお過ごしください。

令和5年4月の人事異動により、田邊学教頭先生の後任として、向後孝憲先生が赴任されました。向後先生は、茂原市出身、母校卒業生であり、平成16年より教諭として本校にご勤務され、その後、八街高校、銚子商業高校を経て、4月に教頭職で着任されました。母校の伝統、校風等もよくご

存じであり、母校100周年に向けて、大いなる力となるものと期待申し上げます。

さて、令和5年6月17日(土)、会員出席30名の下、千葉県立一宮商業高等学校同窓会総会を開催いたしました。

今年度は、次の議案を審議いただきました。

第1号議案 令和4年度一宮商業高等学校同窓会事業報告について

第2号議案 令和4年度一宮商業高等学校同窓会決算報告、監査報告について

第3号議案 令和5年度一宮商業高等学校同窓会事業計画案について

第4号議案 令和5年度一宮商業高等学校同窓会予算案について

以上のすべての議案は、承認可決されました。

報告事項 母校創立100周年記念事業についてであり、総会に先立ち、6月13日に、100周年記念事業実行委員会が開催されました。同窓会、後援会、PTA

各々会長、副会長出席の下、実行委員会則、役員選出、諸事業について検討し、準備を進めています。

また、同窓会と在校生との関わり合いを保つ為、事務局より11月実施の一商祭において、同窓会のブースを設けたらどうか提案があり、早速検討したいと考えております。一商祭に同窓会が参加することは初めてであります。会員の皆様は、昔、学んだ母校を久しぶりに訪問されることも如何で

でしょうか。在学当時を偲ぶことも懐かしいことかと存じます。

前号でも触れておりますが、令和5年の母校3月卒業生157名、4月新入生103名、定員割れ57名であります。外房地域の少子化は、10年前から発生しています。近隣地域(長生、いすみ、安房)では、定員割れの高校が散見されます。同窓会の存立は、母校あつてのものです。商業教育は、企業会計の基礎

校長挨拶



校長

常世田信幸

同窓会の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動にご支援とご理解をいただき、心から御礼申し上げます。

創立100周年まであと2年となる本年。6月に同窓会、後援会、PTAの会長および副会長にお集まりいただき、千葉県立一宮商業高等学校創立100周年記念事業実行委員会を発足し、実行委員長には白井和同窓会長に就任いただきました。また、各団体より委員の方々をご推薦いただき、9月には第2回実行委員会を実施し、委員の皆様は記念事業についてご検討いただきました。今後も定期的に実行委員会を開催し、令和7年に迎えます創立100周年記念事業の準備を進めてまいります。同窓会の皆様におかれましては、何かとご協力いただくことがあるかと存じますがご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

として不可欠です。学校当局としては、新しい教育方針「令和7年度の2学年始」を示されています。校長先生を始めとし、諸先生方のご協力の下、来年度には、定員割れ防止に努めていただきたいと願っております。

結びにあたり、母校の発展と充実、そして、茂原、長生、いすみ、首都圏各々支部のご活躍、加えて会員皆様のご健勝を祈念申し上げます、ご挨拶いたします。

本校は、大正14年に地元の方々強い要望により設立され、昭和28年に県立高校となり、昭和46年には、全国に先駆けて情報処理科を設置し情報処理教育を推進。最近では、平成30年に文部科学省よりスーパープロフェッショナルハイスクール(SPH)の指定を受け、地域観光ビジネス教育プログラムの開発に取り組みました。地域観光ビジネス教育プログラムの開発を行ってきたこと、その後も実践的な観光の学びを推進してきたことが評価され、令和4年には千葉県教育委員会から県立高校改革推進プラン・第一次実施プログラムが発表され、本校に観光ビジネスの未来を担う人材を育成するために観光に関するコースを設置するとのことが決まり、令和6年度入学生より観光コースが設置され令和7年度の2学年から観光に関するコースの授業開始へ向け準備を進めております。これまでの長い年月に渡って脈々と継承されてきた一宮商業高校の歴史と伝統を受け継ぎ、これからは未永く広範に誇れる「一宮商業高校ブランド」であるため、一宮商業高校の教育を継承・発展してまいります。

結びに、同窓会の皆様には、今後とも引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前教頭挨拶



前教頭

田邊 学

同窓会の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。初任教頭であり多くの方に助けていただきながら、二年間という短い間でしたが大変お世話になりました。

特に一年目は、新型コロナウイルス感染症に翻弄されました。多くの感染者が発生し、感染対策に苦慮しました。修学旅行を延期し、再度実施に向け検討しましたが、結局中止することになるなど、学校行事が通常通りに行うことができませんでした。オリンピック・パラリンピック推進校としての活躍の場も奪われてしまうなど、残念なことが続きました。

しかし、二年目に入ると少しずつ教育活動が通常へ戻りつつありました。団長として引率させていただいた修学旅行において、生徒のすばらしさを実感することができました。一商の特徴である地域連携も実施されるようになり、地域のイベントでの活躍を知ることができました。毎月初めの一週間に開催されている朝の小中学生への登校指導は、どの学校も真似することができな

い素晴らしい活動だと思えます。勤務しているときは、あたりまえと感じていたことが、転動してから考えると大変すばらしいことと認識することができました。最後になりましたが、創立百周年を迎える一商の益々のご発展を心よりご期待申し上げます。

感謝と恩返し



教頭

向後 孝憲

日頃より千葉県立一宮商業高等学校同窓会の皆様には、本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、深く感謝申し上げます。また、同窓会の活動に関しましては御多忙の中、多方面において御支援、御協力、まことにありがとうございました。

令和四年度末の人事異動で、千葉県立銚子商業高等学校から着任しました向後と申します。母校でもあり歴史と伝統のある本校で勤務できることを心から嬉しく思います。まだまだ教頭として力不足な点があるとは思いますが、前任の田邊教頭同様にどうぞよろしくお願いいたします。

私は、平成二年四月から平成五年三月まで、生徒として一宮商業に在籍してまいりました。担任は現校長の常世田信幸先生であり、たくさんの先生方から多くのことを教授していただいたことを思い出します。部活動においても野球部に所属し、主将を務めさせていただきました。野球部の現役時代に感じていたことは、多くの方達からのたくさんの援助をしていただき支えられていたことです。

高校卒業後、東洋大学に進学をさせていた。ただき、教員を目指して学業に励みました。大学時代にも商業科の教育実習で本校にお世話になりました。まだ学生の私を多方面において、恩師をはじめ多くの先生方が助けてくれました。

大学を卒業した平成九年四月、本校で臨時的任用実習助手として一年間お世話にな

りました。進路指導部に所属し、当時の先生方には、たくさんの御配慮をいただきました。教員になるためのノウハウを教えてくださいいただき、教員としての在り方も御指導いただきました。

平成十二年度に教員として正採用され、流山高校で教員生活をスタートしました。平成十六年四月から一宮商業高校で教諭としてお世話になり、平成二十八年三月までの十二年間、本校において生活をするともにも多くの方達との出会いがありました。担任として卒業生を三度、送り出すことができました。その中には現在、教師として奮闘している卒業生をはじめ、多方面において活躍していることを聞きます。この教諭時代の十二年間で本当に多くのことを学びました。特に思い出に残っているのが野球部での活動です。野球部のOB会をはじめ同窓会の皆様の温かい援助、後援会の皆様の御支援をいただき現在の野球部があると感じております。多くの支えをいただき、平成二十三年度においては、平成初の五回戦進出(ベスト十六)、平成二十七年年度にも市立船橋や流通経大柏を退け再び五回戦進出をさせていただいたことは、野球部に所属した選手達や保護者の皆様、いつも応援し続けてくれた生徒や先生方、そして同窓会、野球部OB会、後援会をはじめ一宮商業を応援してくださる皆さんの後押しがあつてのことだと感じております。

息子二人も一宮商業でお世話になり、六年間、保護者として本校と関わってきました。今年度で一宮商業との関係が二十三年目になります。まだまだ未熟ではございますが、母校のために精一杯、恩返しをさせていただければと思っております。二年後の創立百周年に向けて、この素晴らしい一宮商業とともに全力で駆け抜けていきたいと思っております。今後とも御指導、御鞭撻をよろしく申し上げます。

古堅時宗 (特別業務職員) 新採用

令和四年度末

職員の異動(順不同)

〔退職〕		手塚恒彦 (商業)	
〔転出〕		北根克義 (特別業務職員)	
田邊 学 (教頭)		市原緑高校	
古市則子 (国語)		茂原高校	
武田晋平 (国語)		東金高校	
網中 萌 (国語)		長生中学校	
鈴木俊昭 (数学)		土気高校	
田中昌世 (音楽)		大多喜高校	
橋本秀哉 (商業)		流山高校	
佐藤美穂 (養護)		長生高校	
安藤美香 (主査)		茂原樟陽高校	
〔転入〕			
向後孝憲 (教頭)		銚子商業高校	
星野尚恵 (国語)		長生高校	
的野誠二 (国語)		茂原北陵高校	
海保和正 (数学)		大原高校	
鈴木貴大 (数学)		新採用	
御園直斗 (理科)		生浜高校	
中村高大 (商業)		習志野高校	
福沢達哉 (商業)		大原高校	
白久沙華 (養護)		大原高校	
長嶋 茂 (音楽)		茂原樟陽高校	
高崎博満 (副主査)		鶴嶺小学校	

総会報告

令和五年六月十七日(土) 母校会議室にて、令和五年度同窓会総会が開催されました。顧問である常世田校長、古市前会長をお迎えし、白井会長、石川副会長、吉野副会長、海老根副会長以下、会計、監事、常任幹事、監事ほか会員と事務局含む三十名が出席し、議案が審議され、本年度の事業計画・予算が決定しました。また、来たる令和七年度の母校創立百周年に向けて、いよいよ実行委員会を後援会、PTAと共に立ち上げて記念事業の実施に向けて活動していくことが宣言されました。



令和5年度 一宮商業高等学校同窓会 収支決算書

令和5年度一宮商業高等学校同窓会決算について次のとおり報告いたします。 令和5年6月17日

Table with 2 columns: 積立金(定期預金報告) and 定期預金内訳. It lists items like '令和3年度末積立総額' and '千葉銀行一宮支店' with their respective amounts.

◎収入の部

Income Statement Table with columns: 科目, 予算額, 補正額, 計, 収入済額, 増減, 附記. It details various income sources like membership fees and donations.

◎支出の部

Expense Statement Table with columns: 科目, 予算額, 補正額, 計, 収入済額, 増減, 附記. It details various expenses like meeting fees, travel, and administrative costs.

監査報告 令和5年度同窓会会計を監査した結果、帳簿及び証憑類ともに正確に処理され適正であることを認めます。令和5年5月16日 一宮商業高等学校同窓会 様 一宮商業高等学校同窓会 監査 土屋 芳廣 監査 岡部 昌夫

定期総会のご案内

下記のとおり定期総会を開催します。

記

日時 2024年6月22日(土) 15時より

場所 母校会議室

議題 令和5年度事業及び決算報告

令和6年度事業及び予算について

創立100周年について

一宮商業高等学校同窓会会長 白井 和

令和4年度 一宮商業高等学校同窓会 活動報告

Activity Report Table with columns: 月, 日, 曜日, 事業内容. It lists activities from April to November, including entrance exams, meetings, and publications.

活動報告

●令和五年度長生支部納涼会

令和五年八月六日(日)一宮海岸にて、令和五年度長生支部納涼会が開催されました。鶴澤支部長のご挨拶に続き、乾杯の時には数十名だった支部会員も正午近くには三十名近く集まり、家族で参加される方もいらつしやり、たいへん賑やかな納涼会となりました。残念ながら、台風六号の影響により海が時化に見舞われ、予定していた地引網が中止となってしまいました。が、地元の海で採れた新鮮な魚を使った料理が振る舞われ、参加者の皆さんが舌鼓を打っていました。暑い中、鉄板で焼きそばを作ったり、子ども向けのスイカ割りも催されて、同窓生の世代を越えた楽しい交流の場となりました。来年度はさらに多くの同窓生が参加いただけるようさらに支部のネットワーク作りをしていきます。



●令和五年度同窓会ゴルフコンペ

令和五年六月十六日(金)一の宮カントリー倶楽部にて、毎年恒例の同窓会主催令和五年度親睦ゴルフコンペが開催されました。十一年目を迎えた今回は十組三十六名が参加して、その中には女性プレイヤーが三名、また昨年に引き続き平成年度卒業生も含み、大いにコンペが盛り上がりました。当日は梅雨真っ只中の曇り空でしたが、プレイ中は雨粒が落ちることなく天候に恵まれ、全てのプレイヤーが楽しくラウンドすることができました。その中で見事な成績を収めたのは、優勝 石井宏一さん(昭和四十九年卒)、準優勝 秋山秀樹さん(昭和四十四年卒)、第三位 村田宏之さん(平成二年卒)、ベストグロス賞 秋山秀樹さんでした。



支部だより

■茂原支部の金庫番②

山田八郎(昭和四十九年三月情一期生)

前回の執筆(松濤第四十四号)では、母校創立八十周年に触れさせていただきました。そして、気がついてみれば創立百周年が間近に迫ってきていることに気がつきます。

この松濤の中にも百周年に向けて、記念事業、実行委員会という言葉が飛び交って、危機感のようなものを感じます。勿論母校が創立百周年を迎えることはおめでたいことですし、卒業生の一人として誇りさえ感じます。

そうした中、微力ではありますが、母校のため、現役の生徒のために何かお役に立てることはないかと考えているところです。

支部金庫番としては、密かに考えていることがあります。それは、「夢を再び」ということです。勿論、これを実現するためには、支部役員の皆様とも相談し、何より支部総会を開催して支部会員の了解を得る必要があります。

新型コロナウイルス感染症が、令和五年五月第二類から第五類へと移行されました。ただ、感染症が収束したかといえはそうではなく、依然として注意をしなければならぬ状況に変わりはありません。

こうした厳しい状況を乗り越えて、何とか茂原支部総会を開催したいと考えているところです。

与えられた紙面に少し余裕がありますので、今年度同窓会総会の常世田校長先生の挨拶から小話を一つ。

一宮商の目指す生徒像についてまず一番に「挨拶ができる」とお話になりました。全くの同感で、古来より「明るい笑顔と大きな挨拶(返事)が幸せを招く」と申します。

初対面で、この人と仲良くなれるか、それともうまくいかないかは、0.2秒で決まるそうです。いわゆる第一印象です。大きく元気な声で、「おはようございます」「ありがとうございます」「プラス笑顔があれば、うまくいかない訳がありません。

歯を八本見せる笑顔が最高です。「い・・・と」「う・・・と交互に声を出せば、「い」の時に口角が広がって、歯が見えます。さらに、エクボでもできたら最強です。

このところコロナ禍でマスクを着用することが多く、素顔を見ることが少なくなっています。しかしながら、目はマスクで隠せません。目の役割は笑顔の中でますます重要になっています。読者の皆さんの目力(めぢから)はどれくらいでしょうか。

最後に返事です。皆さんは、病院等で名前を呼ばれた時、「はい」と返事をしていませんか？

幼稚園児や保育園児は、大きな声で「はい」と返事ができます。それが、成長するにつれてだんだん声が小さくなり、大学生ともなると呼ばれても返事が返ってこない場面も多々あります。こんなことでよい訳がありません。

我が家では、一宮商に習い、大きな声で返事をするように、子や孫に躾ています。駄文を失礼しました。

■ 首都圏支部だより

首都圏支部事務局 吉田理和(昭和五十四年度卒)

首都圏支部の皆様、各支部の会員の皆様、新型コロナウイルス感染症が五類へと移行し、街の賑わいも少しずつ華やいできました。長らく開催を見合わせていました首都圏支部総会ですが、十月二十一日(土)浅草観光を行いました。浅草には昔の東京の雰囲気が残っており、歴史ある浅草寺や仲見世通り等の散策、麦とろ本店(麦とろが名物の懐石料理)にて総会及び昼食会。その後希望者は東京観光汽船にて浜離宮散策。今後も各支部を超えて多くの皆様のご参加をお願いいたします。

さて、令和五年は千葉県誕生百五十周年です。県内各地でイベントが予定されているようです。一商のある一宮町は一八九〇年に一宮本郷村と新茂村の合併により誕生百三十三年、我が母校一商は一九二五年一宮実業学校として創立し、二〇二五年、百周年を迎えます。学校、PTA、後援会、同窓会で組織する百周年記念事業専門委員会も立ち上がり、現在準備を進めておりますので、同窓会の皆様のご協力をお願いします。

先日、玉前神社に参拝してきました。NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」放映後、参拝客が増加し、境内も賑わってまいりました。毎年、九月十三日は上総十二社まつりが開催されますが、コロナウイルス感染症以降、中止・縮小が続いておりました。本年は実施されるとのことです。このお祭りは千葉県の無形民俗文化財に指定されており、祭神玉依姫命とその一族が由縁の

釣ヶ崎海岸で年に一度再会するという壮大な儀礼です。房総半島に多い浜降り神事の中でも最古の歴史と伝統を誇り、意義深い古儀を今に伝える貴重なお祭りです。特に釣ヶ崎海岸でのゆかりの神々を奉じた九基の御神輿を千名あまりの男たちが、それぞれ担いで九十九里浜を疾走し、ご祭神ゆかりの釣ヶ崎海岸に集うさまは圧巻です。是非皆様もご覧ください。

最後になりますが、今年は例年より暑い日が続いております。皆様には健康に留意されますようお願い申し上げます。目の前に迫った母校の百周年に向け、すべての同窓生一丸となり、更なる一商の発展にご協力お願い申し上げます。

IT委員会からのお願い

同窓会ホームページへの掲載を希望されるイベントの告知、記事はメール、FAXまたはLINEでお寄せください。

メール m.kuga.gt@gmail.com (IT委員会 久我昌文) LINE
F a x 0475 42 3919



【同窓会ホームページのアドレス】
同窓会ホームページ http://ichisho-dosokai.com



令和7年 千葉県立一宮商業高等学校は 創立100周年を迎えます。



玉前の森の緑は変わらぬ 仰ぎみる自治の学び舎は
形は変われど理念は変わらず 積み重ねてきた名と誉れは
光り輝き次代へと引き継がれる
希望に燃え集い 使命に燃え学び 理想に燃え励む
そうして今もこれからも一宮商業は永遠を創造する

母校・千葉県立一宮商業高等学校は、令和7年に100周年を迎えます。

100周年を迎えるにあたり、みなさまの「一商での思い出」や「今、一商で学ぶ後輩たちへのメッセージ」を募集いたします。アンケートへの参加方法は、下のQRコードをスマートフォンで読み取ると表示される回答フォームで手軽に回答することができます。また、質問内容は右側のとおりですので、はがきに記入して学校宛てに送付していただいてもかまいません。みなさまからいただいたお声を生徒へ伝えるとともに、一部

を来年度の松濤へ掲載させていただきます。アンケートへの協力と、母校・一宮商業高校への応援を引き続きよろしくをお願いいたします。



創立100周年記念 一宮商業同窓会アンケート

- 年代を教えてください。
19～25歳 26～35歳 36～45歳 46～55歳
56～65歳 66～75歳 76歳以上
- 性別を教えてください。
男 女 回答せず
- 卒業した学科を教えてください。
商業科 情報処理科
- 一商での高校生活で印象に残っていることを教えてください。
- 社会に出てから、一商を卒業して良かったと思ったことを教えてください。
- 一商の強みは何だと思えますか。
- 一商生に期待することを教えてください。
- 最後に一商生への応援のメッセージをお願いいたします。

創立100周年記念 一宮商業同窓会アンケート 結果まとめ

前号の松濤に全頁のアンケート集計のお願いをさせていただきました。ここで、皆さまから頂いたお声の一部を紹介させていただきます。また、引き続き募集しておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

問. 一商での高校生活で一番印象に残っていることを教えてください。

- 答
- ・ 毎日の部活動での練習とメンバーとの交流は輝いていた時の思い出です。
 - ・ 野球部の練習がきつかった。
 - ・ 登校時一宮駅を降りて学校まで集団登校のように並んで友達と話ながら登校したことが懐かしいです
 - ・ 部活動で汗を流したこと。
 - ・ 生徒会活動
 - ・ 文化祭
 - ・ スキーの修学旅行が、行く前は嫌だったけど、行ったら楽しかったこと。
 - ・ 剣道部の稽古
 - ・ たくさんの良い思い出があり、1つにしぼるのが難しいのですが…珠算部に所属し、朝練 昼練 夕練に明け暮れ、夏には校内合宿もしたことが一番です。親身になって進路指導をしてくださった先生のこと忘れません。そして、部活の後にいつも食べていた白鳥パンやさんのメロンパンの味は最高でした！
 - ・ 電算部での活動
 - ・ 入学式
 - ・ 一商祭での演奏披露（吹奏楽部）

問. 社会に出てから、一商を卒業してよかったと思ったことを教えてください。

- 答
- ・ 簿記会計の知識が仕事の様々な場面で助けてくれた事です。
 - ・ 仕事で辛い思いをしても野球部の練習に比べたら楽と思える事。
 - ・ 理由はありません、母校は誇りです。
 - ・ 設備会社で勤務していた時、得意先に赴いて、挨拶をきちんとしたら、得意先の所長にほめられて、仕事ももらえた。
 - ・ 辛くても我慢ができるようになった。
 - ・ 商業科目全般の知識とともに、社会人として生きていく基礎をいち早く学べた事。
 - ・ パソコンに慣れていたこと。

問. 一商生に期待することを教えてください。

- 答
- ・ 公私に必要とされる人間になって下さい
 - ・ 世界に羽ばたく事。
 - ・ あらゆることに挑戦してください
 - ・ 全国大会出場とか会計士合格とか
 - ・ 皆で応援し、一度は甲子園をお願いします。
 - ・ 素晴らしい環境を活かせるかどうかは自分次第です。一商生である自覚と誇りを持って日々過ごしていただきたいです。
 - ・ 今のネット社会を生かして新しいことに挑戦してほしい。
 - ・ みんなで協力しあって、高校生活を楽しんでほしいと思います。
 - ・ 何かに一生懸命に取り組める人になってください
 - ・ 商業科でしたが情報処理も学んで欲しい。
 - ・ 知り合いの一商生が、中学時代よりとても礼儀正しく頑張っているのを目にしました😊一商の生徒指導は昔も今も変わりないと感じました。
 - ・ 近年若者のIT離れが進んでいると言います。それに逆行してIT社会でも通用できる人財を目指してみてください。

問. 一商生への応援メッセージをお願いします。

- 答
- ・ 青春を謳歌し悔いなき学生生活を送って下さい
 - ・ 野球部頑張れ!!
 - ・ 楽しい高校生活でありますように
 - ・ まだ幾つになっても母校を誇れますように
 - ・ 高校生活が、楽しい時間になりますように
 - ・ とにかく在学中は大いに遊び、勉強し、青春を謳歌して下さい。
 - ・ 一商プライドを胸に、素晴らしい高校生活を送って下さい！
 - ・ もししたら、高校の三年間ではやりたいことがみつけれず悩んでいる人も中にはいるかもしれませんが、大丈夫なので、高校生活を楽しんでください。コロナ禍で行事が中止になり、大変かと思いますが、貴重な高校生活を楽しんでください。
 - ・ 高校野球をはじめ、テレビや新聞で一宮商業を見かけると嬉しくなります。
 - ・ これからもみなさんの活躍で元気をください！
 - ・ たくさん学んで遊んでください。無駄なものはありません。
 - ・ 今しか出来ないことに打ち込んでください。時間を大切に！
 - ・ OBとして電算部を応援しています。プロコン日本一目指して頑張ってください。

●令和6年度より観光コーススタート

令和6年度入学生より「観光コース」がスタートします。観光コースは、観光に関する知識や技術を習得するとともに、観光ビジネス従事者としての心構えやマナー、おもてなしの精神といった「観光ホスピタリティ」を学び、観光ビジネスの未来を担う人材を育成します。

入学時は従来どおり商業・情報処理科として入学し、1年生で商業の基礎となる「ビジネス基礎」、「簿記」、「情報処理」を学び、2年生に進級する際に「商業科」「情報処理科」に分かれます。「商業科」では簿記会計を中心に学び、「情報処理科」では情報を中心に学びながら、他に2つの選択授業からより興味関心のある分野について学ぶことができます。選択科目の中に令和5年度よりスタートした「観光ビジネス」と令和7年度よりスタートする「観光ホスピタリティ」があり、この2つの科目は両方を選択することが必要となり、選択者が「観光コース」となります。「観光コース」は、3年生の選択科目で「地域観光」を選択し、2年間にわたり観光ビジネスの従事者や上級学校と連携しながら「観光ビジネス」に関わる知識・技術を深めていきます。

新しい一商が始まる!

令和6年度「観光ホスピタリティ」を学び「おもてなし」のプロを目指す「観光コース」スタート!

一商の観光コースで学ぶ未来
一商から就職 → 「地元観光産業で活躍!」
一商から短期大学 → 「専門性を高めて専門的な仕事へ!」
一商から専修学校 → 「特定の仕事の専門性を学びスペシャリストへ!」
一商から四年制大学 → 「観光学を幅広く学び観光業界をリードする高度な仕事へ!」

千葉県立一宮商業高等学校
Chiba Prefectural Ichinomiya Commercial High School

Bring a SMILE!!
笑顔を増やす仕事って素敵じゃない?

観光に関する知識や技術を習得するとともに、観光ビジネス従事者としての心構えやマナー、おもてなしの精神といった「観光ホスピタリティ」を学び、観光ビジネスの未来を担う人材を育成します。

観光コース
Tourism Course

01 2年生から「観光コース」スタート!

1 1年 商業・情報処理科	2-3 商業科 観光コース
ビジネス基礎 簿記 情報処理 1年生は学校へコースに出れる学年及び商業の基礎科目「ビジネス基礎」「簿記」「情報処理」を学び、ビジネスの土台を築く。就職先の学校に期待します。	観光英語の科目 観光ビジネス 観光A2+旅行 商業科・情報処理科どちらの学科でも観光コースを選択できます。観光学の基礎から、観光に関するビジネスの知識、観光ホスピタリティについて学びます。

02 卒業後の「進路選択」

① 高中で活躍
【地元観光産業で活躍!】
・ホテル・ゴルフ場・飲食業
・テーマパーク
・観光サービス
・鉄道会社
・空運保安員
・観光バス会社

② 専修学校・短期大学へ進学
【専門性を高めて専門的な仕事へ!】
【観光ホスピタリティ系】
・ホテル プライダグ コンシェルジュ
・リゾート
・エンターテインメント施設
【観光サービス系】
・鉄道会社
・空運保安員
・キャンピングカー グランドスタッフ
・空運地帯サービス
・旅行会社
・ツアーコンダクター ツアーガイド
・ツアープランナー カウンターセールス

③ 四年制大学へ進学
【観光学を学び高度な仕事へ】
【観光ホスピタリティ系】
【観光サービス系】
・観光学
・日本観光視察員 (JNTO)
・観光庁職員
・地方自治体観光振興員
・DMO (観光振興公社) など

令和6年度「観光ホスピタリティ」を学び「おもてなし」のプロを目指す「観光コース」スタート!

Bring a SMILE!! ~ 笑顔を増やす仕事って素敵じゃない? ~

千葉県立一宮商業高等学校
Chiba Prefectural Ichinomiya Commercial High School



●釣ヶ崎海岸にアート掲示

令和4年11月に、東京五輪サーフィン種目会場「釣ヶ崎海岸」に一宮生が描いたアートが掲示されました。一宮町より、東京五輪サーフィン競技が行われた釣ヶ崎海岸にある大会でも使用された施設「ステラ釣ヶ崎」の壁面にオリンピックレガシーとして残るよう町内の学校の児童生徒が描いた絵を飾る提案をいただいたもので、一宮町や千葉県塗装工業会の皆さまのご指導のもと取り組んだものです。デザインは高山咲良さん（令和5年3月卒）、ボードへの下絵はビジネス研究部、実写は2年選択地域観光I（令和4年選択者）が描きました。東京五輪のメモリアルアートとして長期掲示されますので、ぜひ現地でご覧下さい。



創立
100周年
特集

写真で見ると

一宮商業高校の歴史



一宮商業の誕生と志田鉦太郎博士

鉦太郎が東京商科大学から明治大学に軸足を移した大正末年の頃、彼はもう一つの学校経営に関わるようになった。それは別邸のあった長生郡一宮町でのことである。

一宮町は千葉県の太平洋側九十九里浜の南端に位置し、古くから半農半漁の町である。初代藩主は加納久壽で一万三千石、幕末の藩主久徴は文久元年幕府の若年寄を拜命、孝明天皇女和宮の第十四代將軍家茂への降嫁の警護役を務めたという由緒ある城下町。ここに別荘を作ったのは明治三十八年頃らしい。だんだん面積を広げていくとともに町の有力者との交流を深めていった。大正末期にはここに滞在する時間もかなり長くなっていた。

その頃一宮町では商業にもっと力を入れようという機運が起こり、二駅千葉寄りの茂原町に出来ていた尋常中学校(現長生高校)と農業学校(現茂原樟陽高校)に対応する形で実業学校(現在の一宮商業高校)を作ろうと有志が協議した。設立代表者は渡辺脩三、田中周、宮重謙輔の三人。

そして大正十四年五月、私立一宮実業学校が設立された。この時、鉦太郎に校長就任の依頼がきた。鉦太郎は長年一宮町に逗留し、この町が気に入っていたので喜んで校長職を受け入れた。鉦太郎の訓話は政治、経済、社会、文化、そして国際問題にも広がっていた。

鉦太郎の教育面での活動は、若い時は東京高商や商科大学の学生達を対象に、日本の産業界の指導者層を教育した。そして中年にさしかかった頃(三〇代から五〇代)には、これら指導者層と協力して活動する層として明治大学の学生達を教えはじめた。さらに一宮実業学校においては、一般庶民と直接接する中堅層を育てる、ということ念頭において指導した、と言えるのではないだろうか。「人にはそれぞれの活動の場があり、また人はそれぞれの場で能力を発揮することが求められている。それを各自が自覚し誠実に努力することが大切だ」と説いていた。

一宮実業学校は開学三年(昭和三年)で私立から町立となりさらに八年後の昭和十一年から県立となった。鉦太郎は県立移管の直前に退職、任期は約十一年間、その間一切の報酬を受け取らなかったという。

出典：志田俊郎 (2015)『志田鉦太郎の生涯』、文芸社。